

第1回「学校評価」の集計結果 今後の取組について

7月に桜尾小の全児童と保護者を対象に「学校評価」を行いました。ご協力ありがとうございました。児童と保護者それぞれの結果と、今後学校が取り組んでいくことをまとめました。

保護者アンケート 数値は4段階評価（4：思う、3：ややそう思う、2：あまり思わない、1：全く思わない）の平均です。

設問 ※(児童アンケート)		保護者	児童	今後の取組
1	お子さんは、授業が楽しいと言っている。 (学校の勉強が楽しい。)	3.18	3.15	学校生活の中心が授業である。考えることや未知のことを学ぶことが楽しいという児童を増やすために、児童が主体的に学ぶ力を育むための授業づくりを推進する。
2	お子さんに、自分の意見や考えを人に伝える力が身についている。 (意見や考えをみんなの前で話すことができる。)	3.19	3.23	子どもたちは人に考えを伝えることの楽しさを感じ始めている。今後も話す機会を意図的に設定したり、話を聞く時に話し手が嬉しい気持ちになる聞き方、相手意識を大切にした話し方を指導する。
3	学校は、一人一人に合わせた丁寧な指導を行っている。 (先生は自分のことを見ていて、困っている時に教えてくれる。)	3.53	3.66	保護者、児童とも一定の評価は得ている。今後は、児童が学ぶことの楽しさを実感できるような支援の在り方を考えていく。また児童が「やりぬく」「やりきる」ためのその子に合った支援と見届け、励ましを継続していく。
4	お子さんは、進んで本や教科書、新聞など文字に触れ、文字を読もうとしている。(図書館や学級の本を、NIEもくもくタイムで新聞をよく読んでいる。)	2.68	3.23	家で本を読む時間が少なくなり、代わりにゲームや動画の視聴の時間増えてきていると考える。学校での新聞記事の読み取りの様子や読書状況など学校の様子を家庭に伝えていく。
5	学校は、日々の教育活動でお子さんのよさを認め励ましながら、温かな雰囲気をつくる指導を行っている。 (クラスのみんなと生活するのが楽しい。)	3.55	3.85	特に子どもたちの評価が高かった。クラスの中で安心して過ごせる居場所があるからだと考える。自分のことを気にしてくれる仲間がいて嬉しい、だから、自分も周りの仲間のことを大切にしていきたいという雰囲気をさらに高めていく。
6	異年齢集団での活動(例:休み時間、さくらお探検隊の時間、掃除など)、他学年との活動を楽しいと言っている。 (なかよし班のみんなと活動するのが楽しい。)	3.64	3.66	なかよし班(縦割り)による活動を楽しんでいる。今後も意図的な関わりを仕組み、価値付けたり、指導したりして、いろいろな人と関わることで楽しいことが生み出せることを実感させていく。
7	道徳の学習が、よりよい自分になろうとする子どもを育てるにつながっていると感じる。(道徳で勉強したことをその後も大切にしている。)	3.41	3.53	道徳で学んだことが、自分の生活につながっていると感じている子が多い。何度も学習したことを話題にして、実践の意識を高めていく。また、道徳教育の様子を家庭に伝えていく。
8	お子さんは、家庭や地域で挨拶をしている。 (自分からあいさつをしている。)	3.35	3.60	朝のあいさつの姿は、元気にあいさつする子、自分からあいさつする子は多くない。あいさつの大きさを繰り返し伝え、自分から進んであいさつができる子を家庭や地域の力を借りながら育てていく。
9	地域との関わりを大切にした、体験的な活動が、子どもたちにとって地域の魅力を探求する心を育てるにつながっている。(総合や生活科の勉強で、地域の人や仲間に教えてもらひながら勉強することが楽しい。)	3.66	3.72	地域の方との関わりが多くあり、子どもたちもその方々から刺激を受けている。関わりや支援が多く大変ありがたい。教えていただいたことに感動と感謝で応えられる子どもたちを育てていく。
10	お子さんは、進んで歯磨きをしたり、健康に気をつけたりして生活しようとしている。(けんこう[歯のことなど]に気をつけて生活している。)	3.30	3.66	毎週水曜のフッ化物先口や給食後の歯みがき、ブラークテストなどが習慣化されている。生活の一部としてそれらを行っている。自分の体に関心をもつこれらの取組を今後も続けていく。
11	お子さんは、健康について学校で学んだことを家で話題にしている。(けんこう[歯のことなど]について勉強したことを家人に話している。)	3.08	3.15	学校で体について学んだことを、保健だよりなどを通して親子で考える機会を作る。
12	お子さんは、運動や遊びを通して、進んで体力づくりに取り組んでいる。(運動や遊びを通して、自分の体力を伸ばそうとしている。)	3.24	3.60	休み時間になると、全児童と職員がグラウンドに出て活動している。気分をリフレッシュするための必要な時間になっている。桜尾小ならではの良き伝統を続けて行く。
13	お子さんは、安全や防災に対する意識をもって生活している。(自分の命を自分で守ろうと気をついている。)	3.11	3.89	児童の評価が高いのは、命を守る訓練や防災講話などを自分ごととして、取り組んでいるからだと考える。保護者にも活動内容を積極的に伝えたり、家庭を巻き込んで一緒に見えるものを考える。
14	梅原小、大桑小と合同で授業をするなど、他校の児童と交流することはよい。(3校交流は楽しい)	3.91	3.55	3校交流について理解が深まっている。回数を重ねるにつれ、交流の仕方も工夫されレベルアップしてきた。3校交流のよさを実感することができる活動を仕組んでいく。

アンケート結果を受け、より一層子どもたちが生き生きと学校生活をおくることができます。教育活動を実践していきたいと思います。今後も、保護者の皆様、地域の皆様の学校に対する思いを大切にしながら、職員一同全力で子どもたちを育てていきたいと思います。引き続きご理解とご協力をお願いします。